

鎌田篤司 (自民党市議員)

モーターボート事業からの
繰出金等について

問 モーターボート事業は、昭和30年に開業して以来、土地区画整理事業、下水道事業、病院事業など総額1887億円余を市の予算に繰り出している。今後のこの事業の取り組み方は、

答 全国24のレース場の中で、一番多くの金額を繰り出している。これからも一層売り上げ向上に向けて努力していきたい。



平成27年度売上全国一のボートレース蒲郡

竹島水族館の
耐震化工事等について

問 クラウドファンディングという方法もあると思うが、工事の時期などは、

答 来年度の夏過ぎに4カ月の閉館を予定し、耐震化や水槽等の工事を行う。

その他の質問
竹島ばるく周辺活性化策等

青山義明 (自民党市議員)

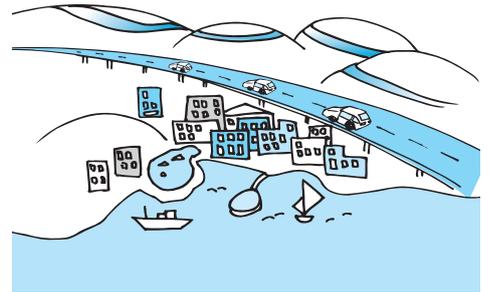
蒲郡港にクルーズ客船を

問 クルーズ客船の招致を進めるプロジェクトチームの設置を考えているか。

答 来年度も客船の寄港が決定した。市役所内で招致を推進するための組織づくりの検討を始めている。

ヘルスケア産業の
推進について

問 ヘルスケア基本計画策定後の事業誘致施策は、



答 特区申請や優遇税制など、状況に応じた施策を引き続き検討したい。

フルマラソン大会の実施は

問 実施に向けての検討状況はどうか。

答 2020年東京オリンピック・パラリンピックの終了までは、一時的に凍結する。

柴田安彦 (無党派)

市営霊園と合葬式墓地の
設置について

問 墓地の経営は、地方自治体、宗教法人及び公

益法人に限定されている。市が果たす役割として、地域や宗派に関わらず誰でも埋葬できる市営霊園を早期に設置すべきではないか。

答 平成22年以降、墓地の調査を行っていないので、市民のニーズを調査したいと考えている。

問 市営霊園に合葬式墓地を設置する自治体が増えている。継承者がいなくても受け入れられ、場所を取らず安価であること、自治体が設置することで運営の信頼性が高まるなどのメリットがある。市営霊園に合葬式墓地の併設を考えるべきではないか。

答 既存墓地の利用状況を踏まえつつ、市民のニーズを勘案しながら、墓地整備のあり方について調査研究をしていきたい。

竹内滋泰 (自民党市議員)

有害鳥獣被害防止対策
について

問 イノシシやシカ等の被害を防止するワイヤーメッシュ柵の設置状況は、



捕獲されたイノシシ

答 平成26年度から設置を始めたが、今年度は竹谷町から柏原町までと相楽町で昨年度までに設置した柵を延長する。数年後には、市全体を囲む計画で事業を進めたい。

介護保険事業の統合
について

問 30年度から東三河広域連合で介護保険事業が統合されるが、統合後の実施体制について伺う。

答 住民が窓口へ来て手続きを必要とするものや、各市町村の他の業務との連携が必要なのは市町村で、